

豊田市の幹線道路網整備等 に関する要望書



令和元年6月8日(土)
豊田北BP平戸大橋区間開通

令和元年8月

豊田市幹線道路整備促進協議会



当市のある西三河地方は、世界をリードするものづくり産業の中核としての顔を持つ一方、超高齢社会の進展に伴う労働人口の減少、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫、公共施設の老朽化等に伴う維持管理費の増大等の課題を抱えています。これらの課題に対応するため、労働人口の減少を上回る生産性の向上や、市民の安全・安心を含めた生活の質の向上に資する取組が急務となっています。

特に道路は、人と環境にやさしく、活力ある都市として、持続的な発展に寄与すると同時に、平常時・災害時を問わない安全かつ円滑な物流等を確保する重要な社会基盤です。

今後も地方が真に必要とする道路整備を着実に推進させ、代替性の確保や生産性の向上に資する道路ネットワークを構築することが、市民の安全・安心の確保や力強く持続的な経済成長の実現、地域の活性化につながるものと考えます。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要とする国道、県道、市道のいずれもが長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和2年度道路関係予算は所要額を確保すること**
- 2 市民の安全・安心を確保し、力強く持続的な経済成長の実現や、豊かな暮らしの礎となる道路ネットワークの整備を計画的かつ着実に推進すること**

都市の持続的な成長を実現する道路ネットワークの整備

人流・物流の効率化による定住促進や生産性の向上、災害時における緊急輸送道路等の多重性の確保など、**平常時・災害時を問わない安全かつ円滑な物流等を実現**するため、**豊田南・北バイパスの早期整備が必要です。**

交通課題(平常時)

市街地の多くの渋滞が
円滑な市民生活・企業活動を阻害

渋滞の解消・移動時間の短縮が必要

豊田市が直面する課題

生産年齢人口の減少



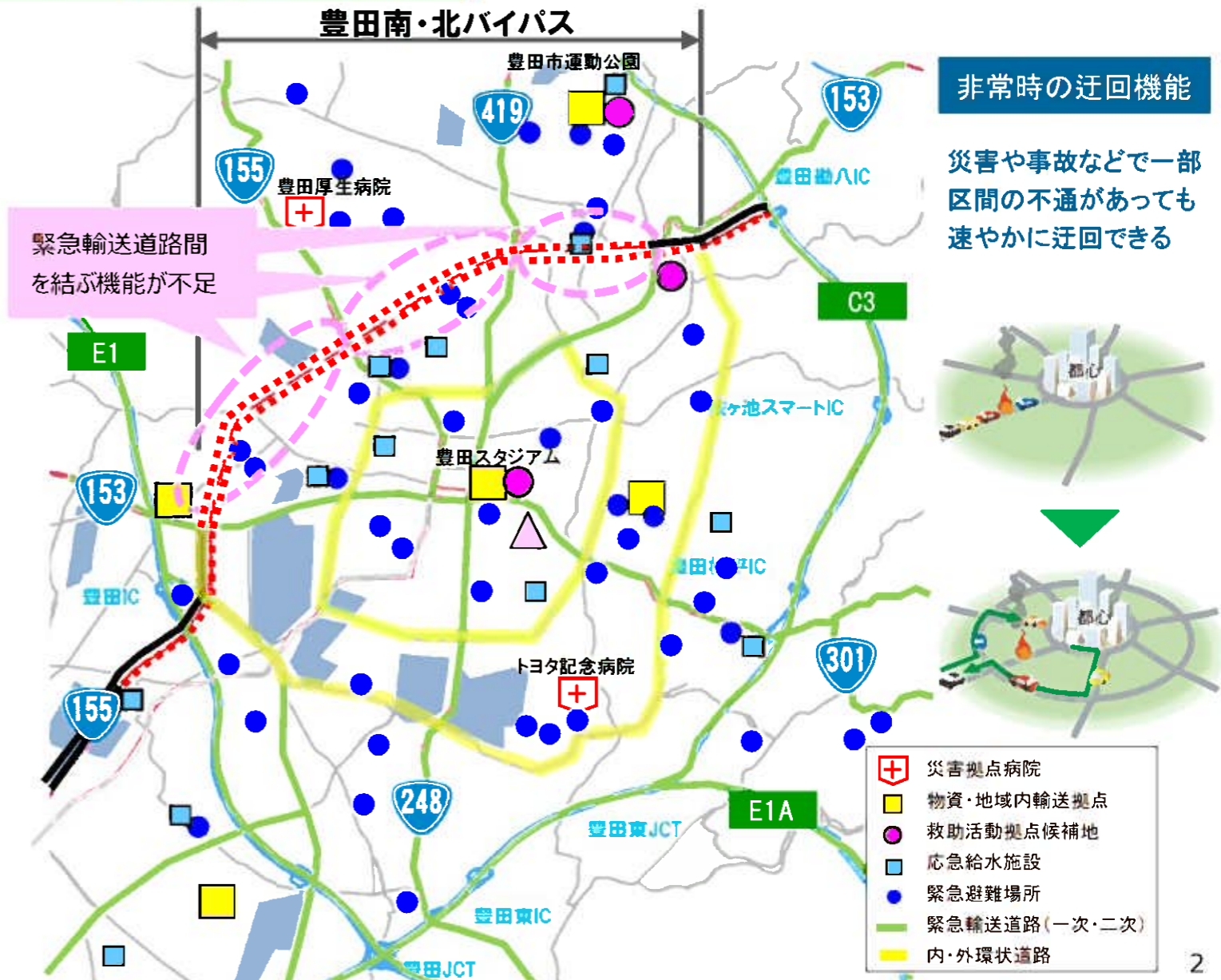
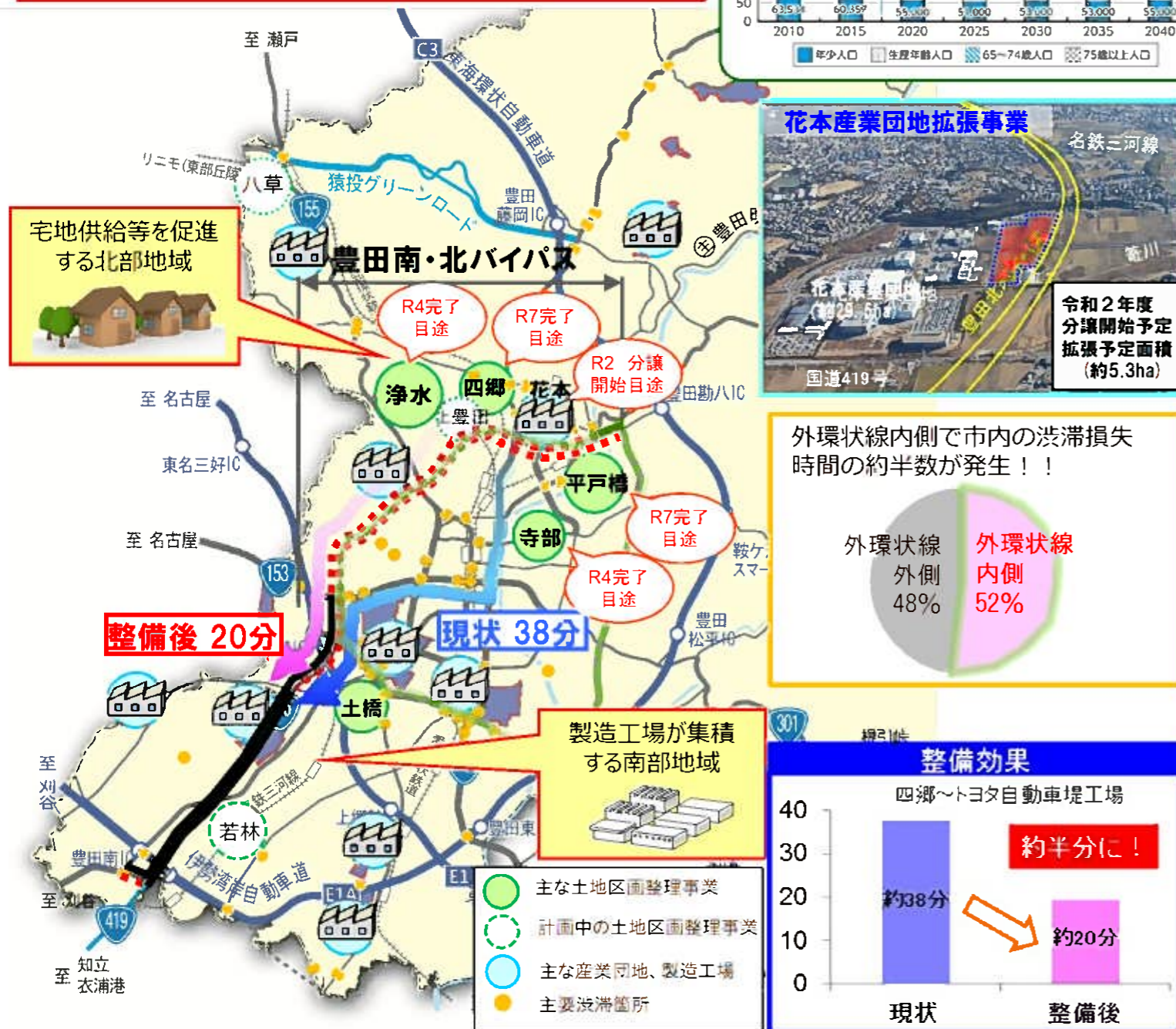
巨大地震への備え



交通課題(災害時)

緊急輸送道路等の代替性が欠如

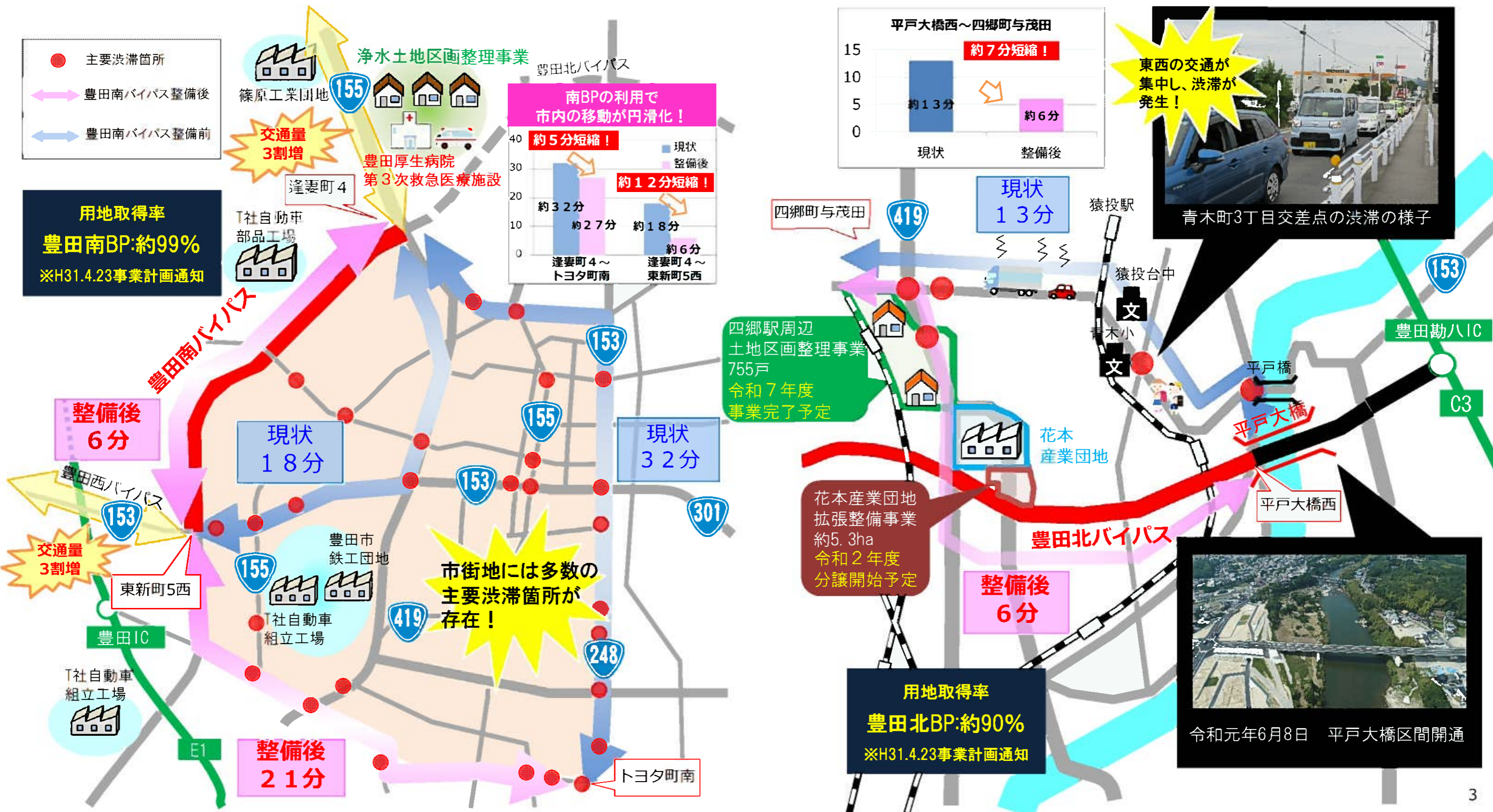
災害時における道路の多重性が必要



都市の持続的な成長を支える道路ネットワークの整備

物流の円滑化による生産性向上や高次救急医療施設の受診エリア拡大のため、環状機能の効果が高い豊田南バイパスの早期整備が必要です。

安全で円滑な主要路線の交通を確保し、地域が安全・安心に生活できる道路交通環境を実現するため、豊田北バイパスの整備が必要です。



安全・安心と広域的な輸送を支える道路整備

広域的な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送等を支えるため、**狭隘トンネルの早期解消が必要**です。

国道153号伊勢神改良 ～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消が必要です～

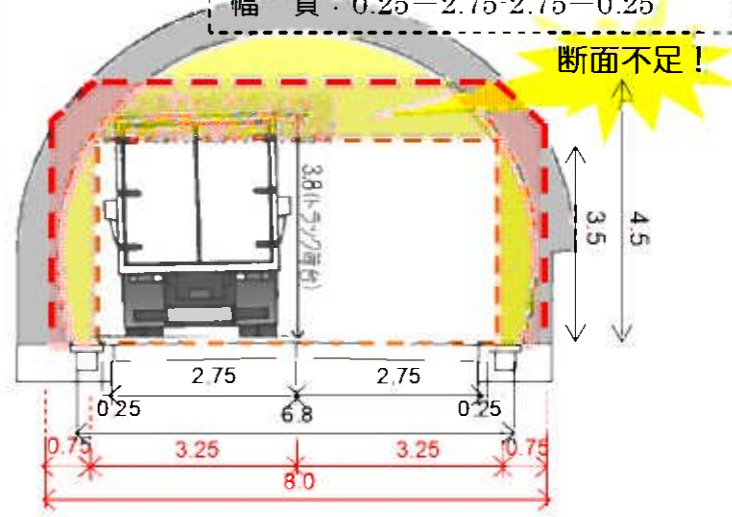
国道153号は、名古屋-飯田間の危険物輸送における唯一のルート！

リニア開通後は稲武から足助、西三河をつなぐ最重要路線！



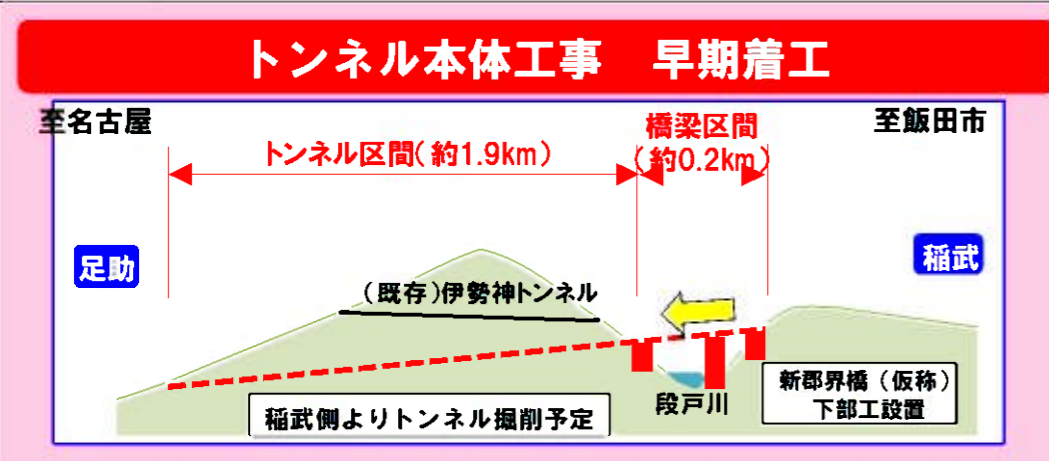
中部地方整備局管内の直轄国道で**唯一の高さ制限 (H=3.5m) が存在!**

伊勢神トンネル



【概要】

完成	昭和35年7月 (旧日本道路公団施工)
延長	1,245m
車線数	2車線
幾何構造	昭和33年旧構造令相当
幅員	0.25-2.75-2.75-0.25

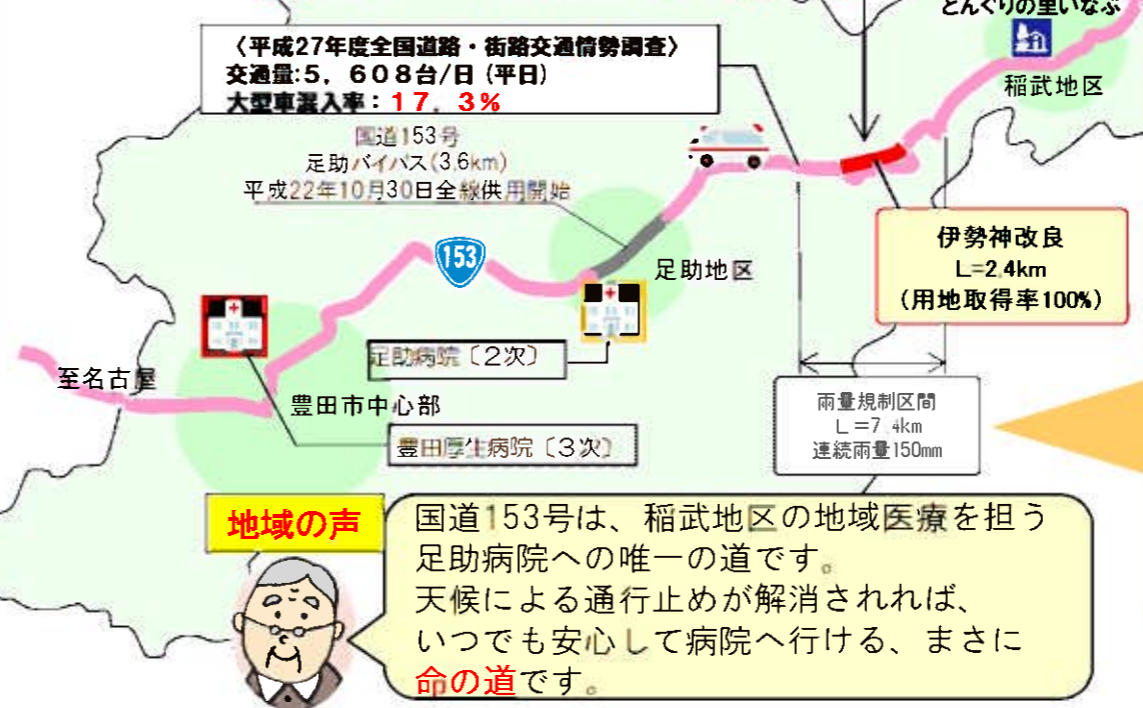


現場近影
 (令和元年5月29日撮影)

(仮)新郡界橋のA1橋台、P1橋脚が完成
 令和元年度は小田木地区の改良工、(仮)新郡界橋の上部工を施工予定
 ※H31.4.23事業計画通知から



国道153号は、稲武地区から豊田厚生病院(3次救急医療施設)への重要な搬送ルート！



愛知県内の直轄国道で**唯一の異常気象時通行規制区間 (連続雨量150mm) が存在!**



台風18号(H25.9)により約8時間の通行止め!

ものづくり産業の国際競争力強化に向けた道路整備

国際競争力・都市間競争力を高め、更なる産業の活性化を図るため新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

豊田・岡崎地区研究開発施設（Toyota Technical Center Shimoyama）へのアクセス道路整備

○現在、下山地区で進められている豊田・岡崎地区研究開発施設事業は、豊田市が更なるものづくり中枢都市としての持続的な成長に資する重要な事業です。

○研究開発施設への安全で円滑なアクセス道路を確保するため、国道301号の整備は最優先事業です。



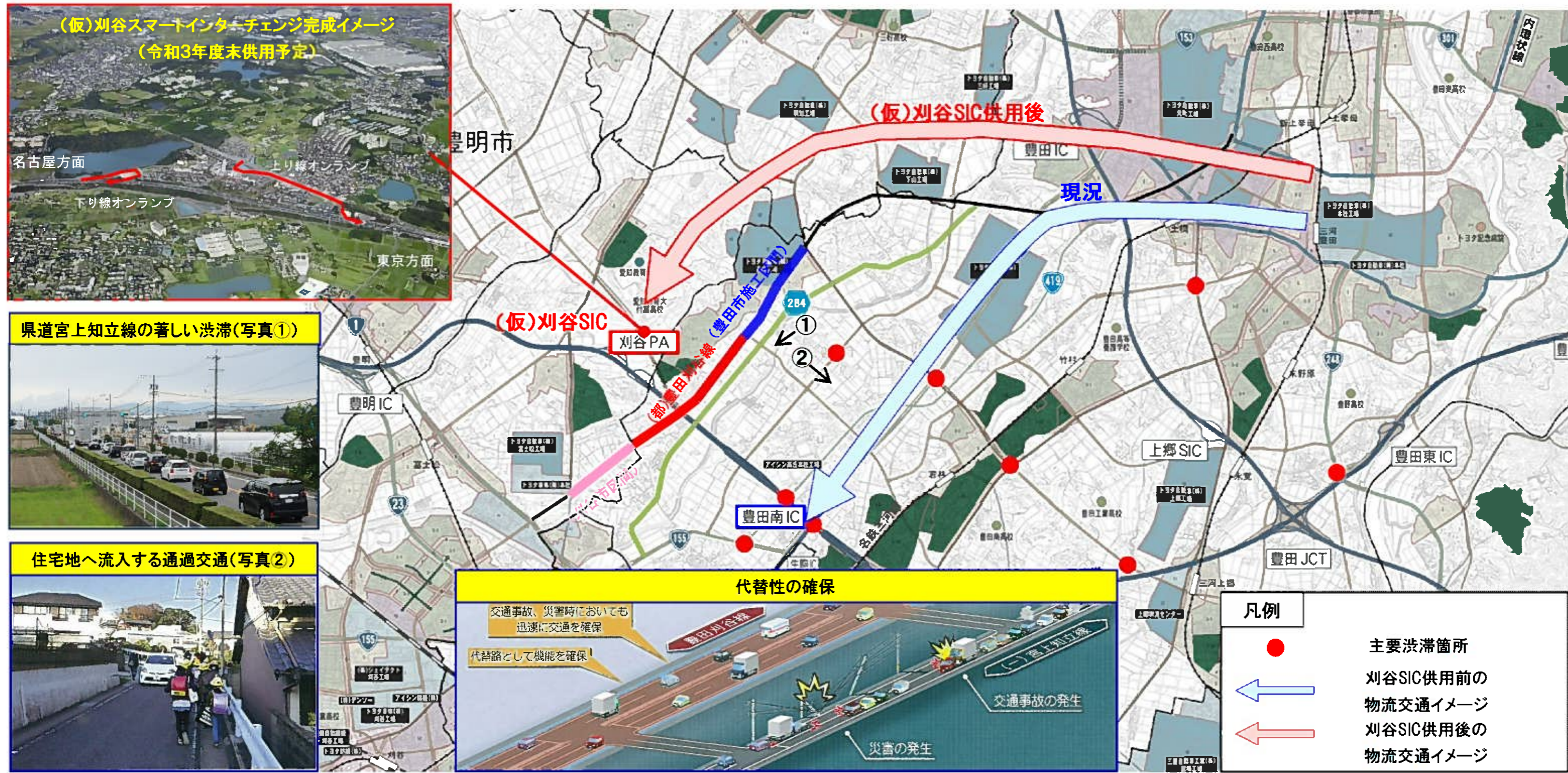
ものづくり産業の基盤を支え、高規格幹線道路へのアクセス性を高める道路整備

国際競争力の激化や労働人口の減少に対応するため、物流を円滑化し、生産性の向上に資する道路の整備が必要です。

(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス (仮) 刈谷スマートICへのアクセス道路整備

○豊田市の南部地区は、自動車産業における主要な工場が集積しており、豊田南ICや周辺幹線道路に交通が集中するため、地域の主要渋滞箇所を中心に慢性的な渋滞が発生しています。

○円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通環境を実現するため、(都) 豊田刈谷線の整備が必要です。



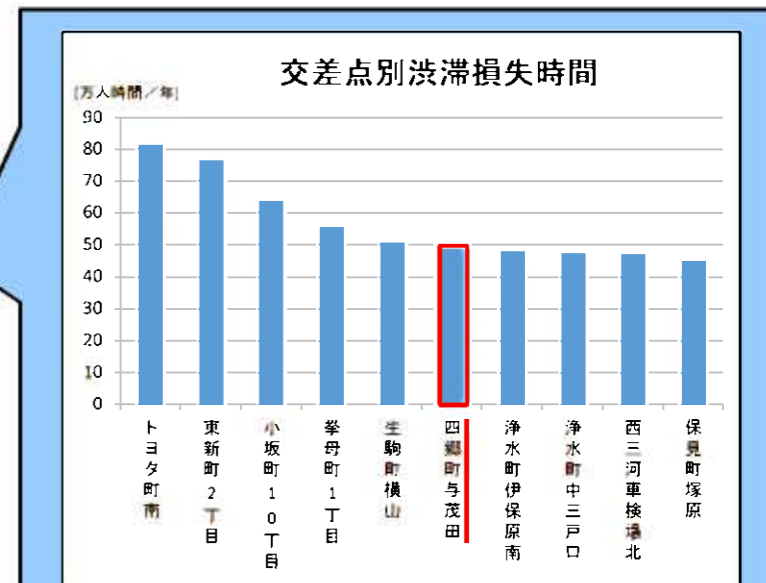
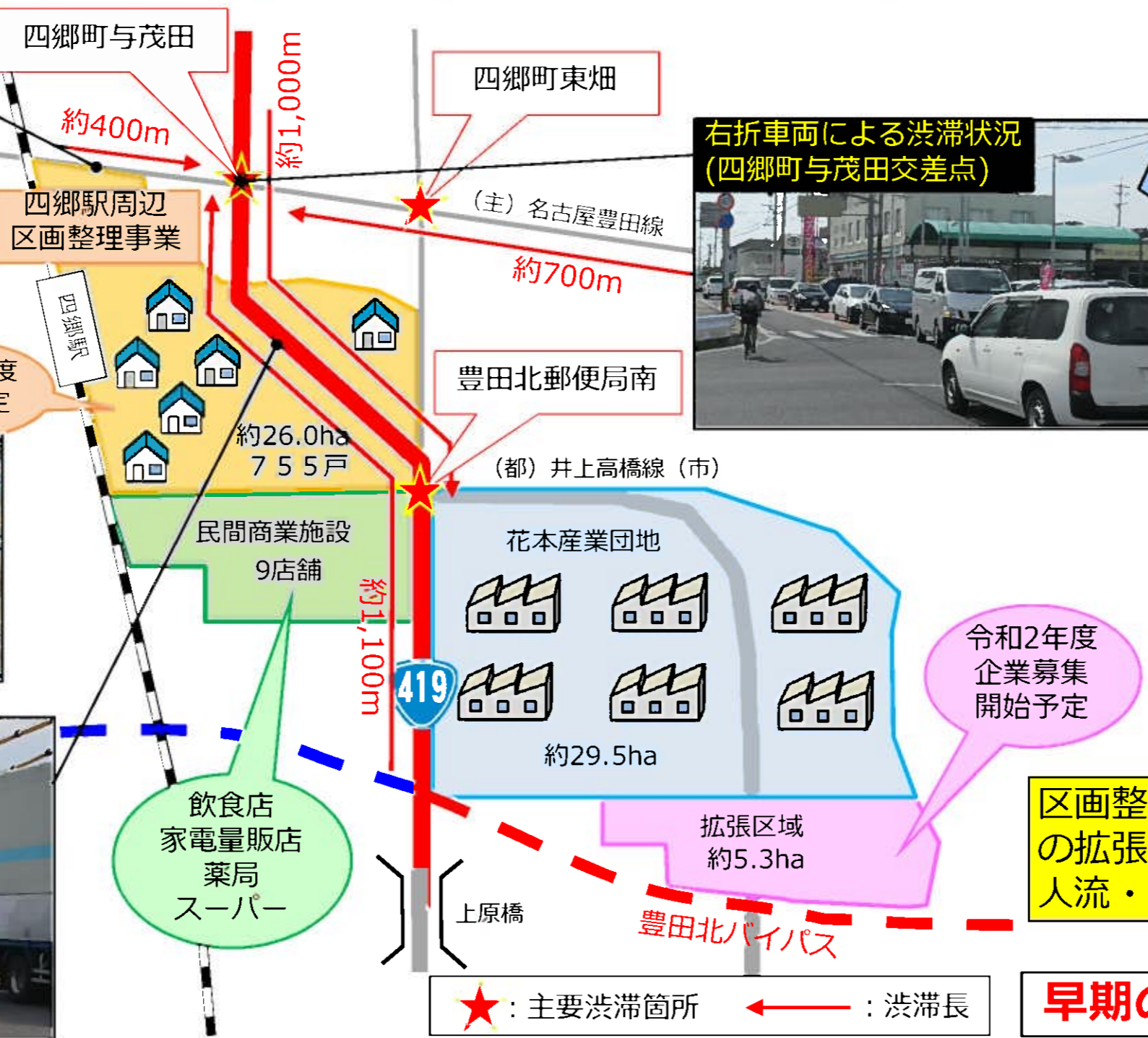
持続的な都市の発展を支える道路整備

円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、生産性を向上させるため、区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

国道419号 四郷拡幅 交通需要の増加に合わせた4車線化整備

○現在、国道419号周辺では、四郷駅周辺での区画整理事業や花本産業団地の拡張事業などを推進しており、今後、事業の進展に伴い交通需要が増加することが見込まれている。

○既存の主要渋滞箇所を含め、円滑な市民活動、産業活動を確保するため、早期の4車線化整備が必要です。



四郷町与茂田の交差点は豊田市内でも6番目に渋滞の損失時間大きい交差点

交通が集中し、主要渋滞箇所が多数存在

通勤・帰宅時には1kmを超える渋滞が発生

区画整理事業、民間商業施設、産業団地の拡張等、沿線の新たな土地利用に伴い、人流・物流需要が増加

早期の4車線化整備が必要です

豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】



力強く持続的な経済成長の実現

- 物流ネットワークの機能強化**
- 国道153号豊田北バイパス
 - 国道155号豊田南バイパス
 - 国道301号松平バイパス
 - (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
 - ・主要地方道名古屋岡崎線(生駒町横山～生駒町東山)
 - ・主要地方道豊田安城線(榑塚西町～福受町)
 - ・(都)高橋細谷線
 - ・(仮)上郷スマートインターチェンジ
- 高規格幹線道路へのアクセスの強化**
- 国道419号(四郷拡幅)
 - ・(都)豊田則定線(寺部町～高橋町)
 - ・国道419号(陣中町)

豊かな暮らしの礎となる地域づくり

- 日常生活移動の円滑化**
- ・国道419号 藤岡飯野交差点
 - ・国道419号 追八反田交差点
 - ・国道153号 平戸橋西交差点
 - ・主要地方道豊田明智線平戸橋西交差点
- 市域の一体性・交流を支える道路の整備**
- ・国道420号 足助バイパス
 - ・国道473号(和合町)
 - ・主要地方道足助下山線(竜林町)
 - ・国道257号(中当町)
 - ・国道301号 根引峠バイパス
 - ・国道301号 林添町バイパス
 - ・主要地方道足助下山線(大沼町)
 - ・主要地方道豊田明智線(浅谷町～須測町)
 - ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

市民の安全・安心の確保

- 緊急輸送道路の信頼性の向上**
- 国道153号 伊勢神改良
 - ・国道153号、国道155号の防災対策
 - ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策
 - ・国道153号、国道155号の橋梁の耐震対策
 - ・一般県道豊田環状線の橋梁の耐震対策
 - ・市道豊田市停車場線 豊田大橋 ほか8橋 橋梁の耐震対策

凡例	色/線種	説明
	赤線	重点要望事項 (国事業)
	青線	重点要望事項 (愛知県事業)
	黒線	要望事項
	○	※○は最重要要望事項

主要地方道名古屋岡崎線(生駒町横山～生駒町東山)

令和元年 8月 6日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長

太田 稔彦

豊田市議会議長

杉浦 弘高

豊田商工会議所会頭

三宅 英臣